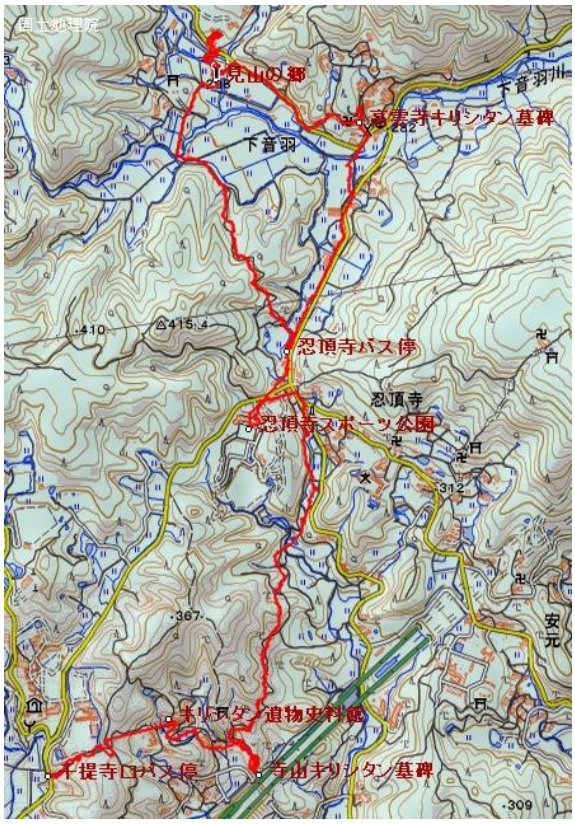
雑木林通信

NO.199／2023.7.25
島熊山の雑木林を守る会
〒560-0001 豊中市北緑丘 3-1-30-101
TEL/FAX　06(6849)2435

遠くを見て近くを知る――青葉輝くキリシタンの里巡る――　5 月 11 日

◆この 4 月から島熊山の雑木林を守る会に参加させていただき、さっそく春の遠足にも参加しました。事前の天気予報は少し心配していましたが、日頃の皆様の行いの効果か好天に恵まれ、爽やかな一日を楽しみました。千里中央から 45 分あまりバスに揺られ、千提寺口に到着。軽く体操のあと、すぐに山道を登りながらいろいろな花の名前や特徴を教えていただきながらキリシタン遺物史料館に到着。茨木の山の中にこのようなキリシタン遺物があるとは知りませんでした。我が家の墓が亀岡にあるので、忍頂寺は時々車で通過するので、道路標識でキリシタン遺跡の案内を見たことはあるのですが、実際に訪問したのは初めてでした。

忍頂寺スポーツ公園で昼食。皆さんから食後のおやつをたくさん頂き、飴ちゃんを舐めながら初夏の道をのんびり歩きました。見山の郷で食べた山椒のアイスクリームが美味しかった。下見や計画・準備をしていただいた皆様、ありがとうございました。



カメラに内蔵された GPS データを地図上にプロットしたものを添付します。全行程 6.5km、標高差 240m～350m でした。（北田 勝章）

◆遠くを見て 近くを知る～隠れキリシタンの里を巡る（茨木）に参加して

5 月 11 日木曜日、千里中央の阪急バス⑦番乗場に 12 名の参加者が集まりました。雲ひとつない快晴の下、8 時 30 分発のバスに揺られて茨木の千堤寺まで行き、自然歩道の坂道を上って最初の目的地「キリシタン遺物史料館」に着きました。館内には、この地で発見されたという有名な「ザビエルの肖像画」や「マリア十五玄義図」のレプリカなどが展示されており、なかなかの迫力がありました。大勢の団体さんに、茨木市職員のお姉さんも「やる気スイッチ」が入ったのか（？）熱心な解説をしてくれました。「地元の歴史を伝え、後世に残すべき遺産を守る」という点では、島熊山の雑木

林を守ることも同様だと思いました。その後、（この道で本当に良いの？と疑うような）竹林の小道に分け入って、キリシタン遺物発見のきっかけとなった「二支十字の墓碑」を探索。しばし遠い過去に想いを寄せました。忍頂寺スポーツ公園までの道のりは、雑木林と竹林が混在しており、林道を歩く途中で「ここの竹は伐採整備がしっかりされてるなあ……」とか、「ここは雑だなあ……」などの会話が飛び交うあたりは、さすが「守る会」のメンバーだと感じました。遠くを見て近くを知るという意義も、こんなところにあるのかもしれません。

忍頂寺スポーツ公園で昼食を摂ったのですが、テラスの低木には巣箱がかけられており、「この位置では絶対に巣を作らないだろうな……」と思われたメンバーの方が施設の方に確認すると、限りなく”飾り”であることが判明しました。このような疑問をほっておかないところも、この会の良いところだと思います。

午後は登り階段を上がったところにある高雲寺を訪問。十字架を刻んだ半円柱の墓石を見学しましたが、発見されるまではお寺の踏み石にしていたという何とも罰当たりな経緯を聴いて驚きました。このお寺の斜面には山椒の樹が茂っており、「実の収穫にはまだ早いね」とすかさずコメントが入りました。

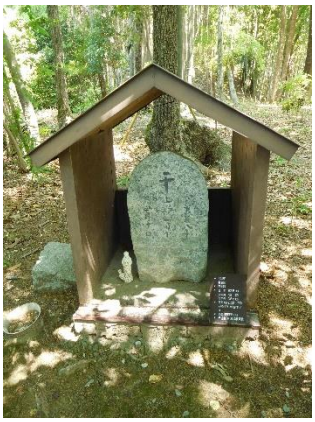
「見山の郷」では多くの方が（私も）花山椒の手作りジェラードを食したのですが、味は如何だったでしょうか？　最後には、近隣にある渡〇/野〇さん宅のガーデニングを見学させていただき、植物の手入れをする楽しさを感じました。帰りのバス停では、アマガエルとアオガエルの合唱も堪能でき、まさに日本の原風景を満喫する１日となりました。このコースを企画、下見をされた方々に感謝です。ありがとうございました。（成田 正則）

聖五月
熱きガイドや
史料館

河原　登子

◆聖五月とはカトリックでは聖母マリアの月のこと。史料館ではガイドの熱弁で遺物のザビエルの箱のなかみがより輝いて見えました。

また、私たちがどこでも身近にしているハルジオン（春紫菀）も山里でも咲いていましたね。なんと、命名は植物学者、牧野富太郎博士でした。朝ドラ「らんまん」を楽しんでいる私です。（河原 登子）



キリシタン遺物発見のきっかけとなった二支十字の墓碑

高雲寺にて

高雲寺にあったキリシタン墓石